



みんなのできる 地球温暖化防止活動

―仲間と竹林整備を通して、推進員活動をしています!!―

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人)つくしまNPOネットワーク

■NPO法人いわき竹プロジェクト

いわき市在住の福島県地球温暖化防止活動推進員の諸橋鑑一郎さんは、2006年3月に地域の仲間と一緒に、NPO法人いわき竹プロジェクトを設立し、理事長を務めています。「様々な理由で竹林（ちくりん、たけばやし）の荒廃が進んでいます。孟宗竹（もうそうだけ）を間伐して竹林を整備したり、所有者からの依頼で竹を全部伐採したりします。竹が好きな私たちです。ので、全伐は複雑な思いです。」「以前は、生活の周りに、箒（ざる）、籠（かご）、花器、箒（ほうき）、簾（すだれ）など、竹製品がたくさんありました。」

■推進員になったきっかけ

竹林は、適切に管理すれば景観も素晴らしいですし、春には筍（たけのこ）も穫れます。土壌保護にも役立ちます。成長の早い竹は、温室効果ガスの吸収にも寄与します。しかし、管理が行き届かないと生態系の破

壊や農業、林業への影響を引き起こします。「竹林と環境問題には密接な関係があるんです。環境に大きな影響を与える地球温暖化について学び直そうと考え、福島県地球温暖化防止活動推進員養成研修会に参加し、2021年に推進員になりました。」

■いわき市フラワーセンターでの活動

「いわき市フラワーセンターで年2回行われるフェスティバルに出展し、竹鉄砲やうぐいす笛、竹トンボづくりの教室を開いています。」また、リサイクルプラザ「クリンピーの家」で、間伐した竹を利用してリサイクル教室も開催しています。「ミニ門松や干支の置物づくりが人気です。」いわき市内の山間部である三和地区に、ドラム缶でつくった窯で竹炭を焼き、JAやさい館や草木台の産直市場「田舎んぼ」で販売していると言います。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「地球温暖化の影響を受けるのは、私たちの世代よりも若者の世代ですよね。竹林整備や、大好きないわきの海岸のごみ拾いなどに、もっともっと若者に参加してほしいです。」諸橋さんは、今年の夏は蚊に刺されるのが少なかったと感じ、調べてみたら、蚊は35℃以上になると活動が鈍くなることを知りました。プラスチック製品ばかりではなく、竹製の生活用品も大切です。(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>